

読者ひろば

震災記憶する 遺構の保存を

高谷和生 62

＝市民団体代表

(玉名市)

今般、地震の経験や教訓を次世代に伝える県の「震災ミュージアム」構想の有識者会議開催の報道に接した。現時点では益城、南阿蘇、西原の断層や被災建物など37件が候補に挙がっているという。各地域の地震断層は当初から熊本地震の本質

を示す貴重な文化財・遺構として保存対象とされてきた。

一方、ここで県が示した「被災建物」(広義の震災遺構か)とは、何を対象とし保存支援するものであろうか。さらに復興庁が熊本地震では適用しないと示した「震災遺構」と県が示すものとはどう違っているのか。第1回有志者会議では、委員から「地域や種類の偏在」「保存対象を広範にすべき」との指摘もなされた

という。

東日本大震災では震災遺構・遺物の保存に向けた活動している「3・11震災伝承研究会」が、保存すべき建造物や自然景観を宮城県内だけでも46カ所を候補とし、県民も広く意見を申し合ひ協議を進めているという。熊本では「復旧基金申請がゼロだった」と報道されたように、民間所有の未指定文化財の復旧復興は、国補助があっても個人負担が大きく、修復さえあ

きらめているのが現実だ。

対象ととらえられる建物等の公費解体が急速に進む中、迅速な協議の下、県民も意見を出しながら、記憶継承の要となる熊本の震災遺構を残してほしい。震災ミュージアムに期待したい。

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用です。掲載分には薄謝を送ります。

投稿される方へ

◇モノクロ作品募集 「私の一字」＝好きな文字一字を書き、その理由も。「モノクロギャラリー」＝イラスト、墨絵、写真など。題材自由。作品は、はがき、封書、ファクス、メールで。作品は返却しません。あて先は①郵送〒8600-8506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者ひろば」係②ファクス 096(3003)12698③Eメール hiro_ha@kumanichi.co.jp